

2007年度の放射線検査室のスタッフは、診療放射線技師4名（4月は3名）であった。主な業務は一般撮影、造影透視、CT、MRI、骨密度測定、乳房撮影で、前年度に引き続き宇城市MRI脳検診の受け入れを行った。

#### 放射線業務の見直し

業務効率化のため放射線業務の見直しを行った、病院機能評価時に作成した各種マニュアルの見直し、検査室の環境整備、患者さん用パンフレットも充実させた。

また造影剤等の薬品や消耗品の余剰在庫削減のために、各種薬品、消耗品すべてに定数を定め、定期的な見直しを行うことで適切に管理することができた。

さらに、大型機器を有効利用するために機器管理を徹底させた。結果、重大な故障を起こすことなく安定した稼動ができた。

#### 能力向上

2007年度も個人の能力向上を目的に、定期的に部内勉強会を開催し、院内外の研修会等へも積極的に参加した。部内勉強会は基礎的な内容を中心とし、新入職員の早期実戦力化、早期救急対応ができるように指導した。そして新たに泌尿器科カンファレンス、外科カンファレンスを開催し、知識や技術の習得に努めた。

特にCT、MRIに関しては、済生会熊本病院画像診断センターの協力の下、技師の派遣研修を行うことで、非造影でのMRアンギオグラフィー及び3DCTアンギオグラフィーの撮影技術の向上が図れた。

また2007年度からマンモグラフィー撮影認定技師がスタッフとして加わり、広報活動を充実させたことで、前年度より多くの方に受診してもらうことが出来た。今後は施設認定の取得が課題となる。

#### 宇城市MRI脳検診

約650名の受診者を受け入れた。安全かつ精度の高い検査の提供を目的に、検査前にチェックリストと問診票で二重のチェックを徹底し事故防止に努め、問題なく検診業務を遂行することができた。

来年度も引き続き検診を受け入れ、機器の有効利用に役立てていきたい。

#### 遠隔画像診断

例年通り、熊本病院画像診断センターの強力なバックアップの下に順調に行うことができた。また、遠隔診断対象症例を通して画像診断力の向上に努めた。

#### おわりに

今後は来る電子化に向けて、更には医用画像のフィルムレス化、HIS、RISの構築などの検討のため、専門知識の習得にも励んでいかなければならない。

少人数ではあるがスタッフ一丸となって飛躍していきたいと思う。